

令和6年度事業報告

1. 航空保安研究センターは、安全かつ効率的な航空交通を実現するための航空保安業務に関する調査研究を行い、その成果を航空保安業務の改善、向上に役立て、航空交通の発展に寄与することを目的としており、この目的を達成するため、主に次のような事業を行っています。
 - (1) 公益事業
 - (2) 調査研究事業
 - (3) 派遣事業
 - (4) 教育事業

2. 令和6年度（令和6年5月1日～令和7年4月30日）においては、具体的に以下の事業等を行いました。
 - (1) 公益事業
 - ① 航空交通情報サービス（受配信）提供事業
 - ② 航空交通情報サービス提供関連事業
 - ・POCHIサービスの提供開始他
 - ③ 飛行コース監視・公開システム運用等業務
 - ④ 航空機騒音実態把握システム(Ntrack)に係るデータ編集作業

 - (2) 調査研究事業
 - ⑤ 首都圏空港の運航実態調査
 - ⑥ 空港制限区域に係る車両運転許可制度の在り方に関する調査等
 - ⑦ 国内空港における今後のDCLの展開等に関する調査
 - ⑧ Global Swimにおける品質管理システムに関する要件調査
 - ⑨ 航空路管制空域再編後の管制作業実態に関する調査
 - ⑩ 小型航空機等に係る安全対策構築のための調査
 - ⑪ 安全情報に係る処理及びデータベースの最適化に関する検討
 - ⑫ 疲労管理の高度化に関する有識者検討会に係る支援業務
 - ⑬ 滑走路面状態評価等の調査手法（誘導路及びエプロン）に係る調査等
 - ⑭ 航空安全プログラムの適用に伴う安全情報（自発報告）分析業務
 - ⑬ 福岡空港航空機騒音・地上運用実態調査
 - ⑭ 新千歳空港の容量拡大を考慮したデアイシング等の運用検討業務 他

 - (3) 派遣事業
 - ⑮ 航空保安大学校管制訓練教官
 - ⑯ 中部空港事務所他4官署の英語訓練教官

 - (4) 教育事業
 - ⑰ エアサイド訓練シミュレータ提供
 - ⑱ エアサイド・オペレーション初任者訓練 他